



## 流域1万人だより 021～030

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

021.大川市 川口コミュニティセンター (2004.09.06)

022.日田市 三花公民館 (2004.09.06)

023.大川市 三又コミュニティセンター (2004.09.08)

024.日田市 三芳公民館 (2004.09.10)

025.北野町役場 (2004.09.10)

026.日田市 夜明公民館 (2004.09.10)

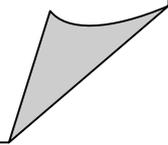
027.大川市 大野島コミュニティセンター (2004.09.13)

028.蜷川公民館(大橋町)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(2004.09.04)

029.日田市 西有田公民館 (2004.09.14)

030.日田市 五和振興センター (2004.09.17)



# 流域1万人だより VOL.21

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 大川市 川口コミュニティセンターで、お話しを伺いました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。

今回は9月6日(月)に大川市 川口コミュニティセンターにおいて、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	3
県	1
市	2
住民	7

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

筑後川下流は砂が多く、船が沈むほどシジミが取れていた。新田大橋の下では最近まで取れていた。今では生活排水や農薬のためか詳しくは分からないが、シジミはほとんど見なくなった。今はほとんどガタバカリである。水の流れが弱くなり、筑後大堰の影響もあるのではないだろうか。以前はグチやアカメがたくさんいたが、今はすっかりいなくなった。手長エビもいなくなった時期もあったが、最近は少しずつ戻ってきた。エツはよく取れているようだ。この付近の堤防は川から砂をあげて築いたものなので少し不安。工事では機関車が使われていた。

#### 【ヨシについて】

この付近(川口校区)の河岸にはヨシがないので、水質浄化機能が期待できない。これは市議会でも問題となったが、護岸工事と強力なエンジン搭載の漁船航行による波浪で河岸の土砂が浸食されているためではないか。今は護岸などで寸断されて植生がない状態になっている。

#### 【ゴミ問題について】

水質やゴミ問題は、流域全体で考えて対処していかないといけない。河川敷への不法投棄が非常に多く、大問題。河川敷で遊んだり酒盛りなどをやってそのままにしている。ゴミを捨て、それに火をつける不心得者もいる。草木が枯れている時は延焼の恐れもあり非常に危険。国交省の河川パトロールは昼間やっているが、夜間のゴミ捨てが多いので夜間パトロールはできないか。堤防の上からゴミを捨てる者もいる。堤防天端に車が入れないように規制できないか。規制がかえって相手の気持ちをあおっても困るが...。一部漁協では漁業者自ら浜の清掃を行っている。さらに多くの人ボランティア協力があればよい。

#### 【雨水対策について】

上新田地区では高潮堤防のパラペット整備が進み安全になって喜んでいますが、パラペット設置により堤防上の雨水が全て川裏側へ落ちてくるようになったので、水路整備を十分にお願いたい。地区内の水路維持管理もなるべく校区民で対処するようにしているが、なかなか難しいのが実情である。堤防が高くなって測道の勾配がきつくなり、雨水が滝のように流れ横断水路を越える勢いになった。何らかの改善策が考えられないか。

#### 【河川空間の利用について】

昔は若津港から島原行き定期船が出ていた。下流域には他にはないよい資源(デ・レーケ堤など)がある。観光資源としてぜひ活用したい。

### 地域代表者ヒアリングの写真



# 流域1万人だより VOL.22

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 日田市 三花公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は9月6日(月)に三花公民館(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	3
県	0
市	1
住民	5

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

昔は水もきれいでよく川で泳いだものだ。現在では川辺りに葦が生い茂っているが、昔は葦も少なく、河原に近づきやすく、川の中に入りやすかった。(石河原に戻したい。)  
魚の種類についても、今は”うるこのない魚”(どじょうやウナギ)が少なくなった印象を受ける。

#### 【ゴミについて】

川を流れるゴミの量が非常に多い。夜明ダム付近でのゴミの多さには驚かされる。

#### 【治水対策】

今後の花月川の治水対策(明德橋から下流)、施工時期やその内容について、住民は非常に高い関心を持っており、今回の懇談会の際には多くの意見が出るだろう。

#### 【河川空間の利用について】

花月川において、地蔵元橋から岡本橋の区間は、将来的に河川空間として利用が可能と思われる。広場やグランドゴルフ場等、住民の憩いの場となるよう期待している。  
大山町の水辺プラザは非常に良い事業だと思う。今後も多様な河川空間づくりを進めてもらいたい。

#### 【その他】

昔にくらべると、川への関心というものが明らかに低くなった。子どもの遊び場を設けたり、川と親しむ環境をつくり、川への関心を取り戻すことが必要。みんなが関心を持てば、ゴミ投棄なども少なくなっていくのではないかな。

### 地域代表者懇談会の写真



# 流域1万人だより VOL.23

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 大川市 三又コミュニティセンターで、お話しを伺いました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。

今回は9月8日(水)に大川市 三又コミュニティセンターにおいて、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	3
県	1
市	2
住民	8

### 主な意見

#### 【下流の河川環境悪化について】

昔は川中に砂洲があって、シジミなど多く獲れていた。今はガタばかりで、大堰下流は死滅状態にある。上流にダムや筑後大堰が建設され、下流に砂が流れて来なくなったことが原因だと思っている。有明海ではタイラギなどが全く獲れなくなるなど、有明海や下流域住民は相当の被害を受けている。昔は付近一帯が砂浜で、川に入っても足は汚れなかった。砂利の乱獲で河床が下がり、アオ取水のポンプが稼働できなくなった。治水面はかなり整備されたが、反面、環境は破壊されたと思う。昔は河川敷が広く、ヨシドリがたくさんいて鳴いていた。今は全く鳴き声を聞かない。また、ヨシドリなどを捕まえて商売する人もいた。ヨシドリは3本のヨシに巣を作る。昔は火災時には消防車が、荒籠に直接乗り入れて利用できた。今はガタに埋まり、利用できない状態。筑後大堰より上流の環境は下流域からするとうらやましく思う。以前は下流の水もきれいで、汲んだアオを売る「水売り」の商売があった。その水でのお茶は美味しかった。この付近は1回の満ち潮で3mmほどガタが溜まる。真水は下流域にはない。道海島は地下水に依存しているため、その整備に何千万も使っている。有明海にも砂がなくなり、そのため有明海の魚が筑後川に入ってくるようになった。このすっかり変わってしまった筑後川下流域の環境を昔のように戻すことは無理だと思う。しかし、少しずつでも改善していく努力はみんなですべきだ。

#### 【護岸の整備について】

護岸の整備が進み、治水対策はかなり達成出来たと思う。加えて魚が生息できるような整備を行って欲しい。護岸の外にコモやヨシを植えたり土をつけたりなど環境への配慮を。10年前は手長エビやウナギがいたが、近頃は寄りつかなくなっている。

#### 【河川敷の利用について】

運動している人が木陰で休憩できるような、樹木が欲しい。コンクリートばかりではなく、芝生も必要だ。三又地区で川に親しめるような砂場のある整備を。現在の河川環境では川に入る気持ちにならない。

#### 【内水対策について】

筑後川右岸側は強制排水施設が比較的充実しているが、左岸側はなぜか整備が遅れている。花宗川上流などではほ場整備が進み、上流の水がどっと下流に流れ込んで来る。筑後川が干潮の時はすぐに排水できるが、満潮時は強制排水しないと支川越水により内水被害が出るのではと心配している。新橋川合流点のポンプ新設要望は、三又地区全体の環境・農業・生活・治水面の最重要課題である。

#### 【ゴミ問題について】

先日の台風18号で、河岸のヨシの間に膨大なゴミが溜まっている。今度のノーポイ運動でも片づかないほどである。特別な配慮をお願いしたい。ポイ捨てが多く、車から捨てる。指導している前でも捨てる。

#### 【船舶の係留場所について】

ヨシの中に多数の遊漁船が不法係留してある。数が多くて港でも整備しないと対応できない。どうか対応策はないか。先日の台風18号でも川端付近で2隻沈没していた。ハーバーなどを整備して、不法係留を一掃できないか。

#### 【その他】

盆の精霊船を町の慣習行事として川に流しているが、今後も継続してできるだろうか。大野島ではコイヘルペスの死魚が流れ着いて被害がすごかった。悪臭でゲートボールが出来ないほどだった。筑後川に対する意見としてはいつも下流域にしわ寄せが来るので、下流域の意見こそ大事だと思う。

# 流域1万人だより VOL.24

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 日田市・三芳公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月10日(金)に三芳公民館(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	2
県	0
市	1
住民	8

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

昔は石河原があり、草木も生い茂っておらず川に近づきやすかった。川も遠浅でみんなよく泳いだものだ。今の川底は浅いところから急に深くなっている。魚の種類も少なくなってしまったが、一番の原因は水質が悪くなってしまったからではないだろうか。

#### 【治水対策】

筑後川本川については、ある程度護岸が整備されており、また、松原ダムができたことから水害への不安は少ないものの、玖珠川右岸の護岸については質的な改良を行ってほしい。

#### 【環境対策】

竹田公園付近で、草や木が生い茂っていてせっかく良い景観なのに残念だという声を、観光客から聞くことがある。やはり、昔にくらべると川辺りに草や木が生い茂って景観が損なわれている箇所(恵良橋下流等)が多く、川にも近づきにくい。何とか整備して美しい景観を取り戻して欲しい。住民による除草活動は、「自分たちでやれることはやろう」という考えで、自治会レベルでも自発的に行っている。自分たちでできないところは、国・自治体とともに協力することが必要。

#### 【河川空間の利用について】

小淵橋付近の消防用道路を玖珠川方向に延長(天領大橋までできれば最高)してほしい。

#### 【その他】

環境が悪化したのは、そもそも人間が豊かな生活を追求したことに起因するものであって、これを取り戻さなくてはならないといっても簡単にできるものではなく、かなりの労力と時間が必要だろう。

### 懇談会の写真



# 流域1万人だより VOL.25

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 北野町役場で、地域代表者懇談会を開催しました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月10日(金)に北野町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	2
県	0
町	2
住民	5

### 主な意見

#### 【筑後川の水利用について】

夜明ダムから小石原、江川・寺内ダムに水を送って農業・工業用水として使っているが、それに伴って原鶴から下流の北野町には水が流れてこない。水供給をあまりにも筑後川に頼りすぎている。今後ますます筑後川の水量が減るのではないかと心配している。

……【お断り】筑後川本川にある「夜明ダム」から小石原川や江川・寺内ダムに送水している事実はありません。】

筑後川は利水が過剰ではないか。北野町は農業従事者が多い。田畑にも水が足りていないのに、福岡まで水をもっていくのはどうかと思う。福岡の水対策には、海水淡水化プラントをつくるなど違う水対策を行って欲しい。また農業用水として取水している水が近年汚くなっている。特に床島の水質が悪い。

21世紀は世界中で水の戦いが起こると言われている。将来20～30年間を見通した水利用の対策を考えないといけないと思う。生活と密着した問題は利水である。

ダムの利水問題という大問題がある。そういったダムの利水問題を解決せずして1万人会議は行えない。まずは利水問題の解決が先ではないか。

#### 【除草とゴミ対策について】

大城橋では除草が済んだ後でもゴミが多い状態である。河川敷が広がるのはいいが、水量が減りヨシが繁茂している。除草も水面に沿ったところに行っていないため、そこにゴミが捨てられてしまう。

除草の範囲で国と県で実施時期が違うなど、住民にとっては非常に困惑している。県を指導するなど解消策を検討して欲しい。国が除草を一括して行って、除草の負担金を自治体に課すなど行ってはどうか。

#### 【昔の筑後川について】

昔は大城橋の下でハヤが50～60匹も釣れていた。現在では筑後大堰ができたことで、水の流れがなくなり、稚鮎の遡上ができなくなった。その結果、原鶴や三隈川などに運んで放流している状態である。

昔は川に入ると流されてしまうほど水量が豊富で、付近には砂浜が広がり、網でエビを捕ったりなどしていた。筑後川の形態がすっかり様変わりしてしまい、今では川にはいるのにも抵抗を感じている。

#### 【筑後川の生態系について】

ブラックバス対策をはじめとして、河川の生態系が壊れてきているのを感じる。

鎮西湖ではホテイアオイが増えてきている。環境整備がなおざりになっている感がある。整備については国が率先して行わなければ市町村では対応しきれない。

#### 【昭和28年水害について】

夜明ダムの影響で昭和28年水害は起きたのではないかと。今後28年水害程度の規模の水害が起きれば、弓削地区は遊水池になってしまうのではないかと心配している。

#### 【水質について】

北野町には親水公園があるが、澱んでいて意味をなさなくなっている。

#### 【河川整備計画について】

河川整備計画について、予算面は考慮に入れてもいいのか。住民は意見がとらなければ関心を示さない。また、住民から意見があがったら、国は鋭敏に対応して欲しい。

治水・利水・環境など、国としてはどれに重点を置くのか教えて欲しい。

整備計画について、国としての構想はあるのか。

あるならその構想に基づいて意見を言いたい。

今現在の基本的な構想を示して欲しい。

#### 【ダム放流時サイレンの騒音について】

ダム放流時のサイレンが夜中でも10回も鳴るため付近住民は眠れない夜を過ごしている。サイレンは堤内ではなく、堤外(川側)に向けて鳴らして欲しい。訴訟にもなりかねない。

### 地域代表者ヒアリングの写真



# 流域1万人だより VOL.26

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 日田市・夜明公民館を訪問し、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月10日(金)に夜明公民館(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	2
県	0
市	1
住民	4

### 主な意見

#### 【昔の筑後川の思い出】

昔、夜明ダムが無かったころは、水も澄み水量も豊かで、水泳や魚とりなどいろんな川遊びをしていた。

#### 【水害の記憶】

昭和28年水害時には、JR鉄道橋の高さまで水位が上昇していた。また、夜明ダムは、その当時まで建設途中で、完成していれば被害が軽減できたのではないかという話もある。

#### 【現在の交通状況について】

夜明地区を通る国道386号は、幅員が非常に狭く、歩道もなく非常に危険であり、何とかして改善しなければならない。河川と道路の管理者が協力しなければならない話であるので現在の状況を知っておいでほしい。

#### 【環境対策】

夜明ダム取水門から発電所の間(減水区間)は、水がない状態が続くため、葎などが生い茂り非常に見苦しくなってしまう。ある程度の水量を流して川の風景を取り戻したい。とくに保木沈橋付近はカワセミも見られることから環境に配慮した整備をしてほしい。また、この区間を通る市道周辺はゴミの投棄が非常に多く、防護柵などの整備が必要である。

夜明ダム取水門下流の屈曲部については、浸食されて絶壁になってしまっているため、護岸の整備をしてほしい。

魚の数も少なくなってしまうが、魚道の整備等を行わなければ魚は戻ってこない。

#### 【河川空間の利用について】

夜明ダムの湛水区間は、ちょっと雨が降らないと水が変色し川が濁る。また、川辺に降りるような施設も少なく、親水性ななんてものはない。

夜明ダムの湛水区間において、カヌーの練習を行っている。日田市がカヌー競技に力を入れていることもあるので、将来的には競技場として整備ができれば良いと思う。

#### 【その他】

夜明ダム建設時の時代背景は戦後の経済復興期であり、地元の要望や環境への配慮などはほとんど考慮されなかったのだろうが、現在の状況(川の汚れ、景観、生物の減少等)をみると非常に残念に思う。

### 懇談会の写真



# 流域 1 万人だより VOL. 27

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

## 大川市・大野島コミュニティセンターで、お話しを伺いました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は9月13日(月)に大野島コミュニティセンター(大川市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

出席者	
国	3
県	1
市	2
住民	13

### 主な意見

#### 【昔の筑後川について】

水の用水の配分等も考えられてつくられた筑後大堰だが、大堰ができたために環境が変わってきってしまった。ガタが堆積するようになり、棧橋も川の中央へ延ばさざるを得ない。生き物についても、昔はシジミ、カニ、エビ等がたくさん取れ、豊富な川の恵みが実感できた。

筑後大堰ができる以前、大野島の地域住民はアオ取水の水利権を持っていた。大堰の完成に伴いアオ取水はなくなってしまったが、お知らせや説明会等の機会がなかったのは非常に残念である。

#### 【治水対策について】

大野島地区はS28年災害時には幸いにも堤防の決壊はなかったものの、同程度の降雨があった場合に満潮と重なったならば、内水が吐けなくなってしまい浸水被害を被ることになる。大野島は"島"であるので、その特性等も考慮してもらい、強制排水施設の設置等の内水対策をお願いしたい。

早津江川の花咲開樋管は、操作時に底面に堆積した木や草が噛んでしまい全閉できないことが多い。また、現在の樋管は入り口が狭く排水しづらいのではないかと。樋管や堤防の低いところなどは今後も整備を進めて欲しい。

#### 【除草について】

草が生い茂るとゴミの投棄が増加する。市や国で草を刈る時期が違おうだが、調整して同時期に刈ったり、回数を増やす等して欲しい。将来的には芝生を植えてもよいのではないかと。

昔は、流れてきた木々や川沿いの葦を刈って燃料にしたりヨシズを作ったりしていたため、良い循環が成立していた。現在では、"捨てる捨てる"という悪い循環になってしまっている。

#### 【環境対策について】

大上、乾角から長崎開の周辺まで堤防の内側がコンクリートで三面張りしてあるが、それから下流の地区はなされていない。(以前、堤防改修時に行われたほ場整備事業にかかったところは整備してあるが、その範囲に入っていない箇所はなされていない。)雑草が育ちにくくなるので、将来的には整備してもらいたい。

環境美化という観点からすれば、青年会議所が植えている桜のように、川の中(高水敷)にも樹木を植えて、美しい川の風景をつくりたい。

大上地区の間知石積みがなされている平地は、昔から草が生い茂ってはいるものの面積は広いので、草を刈って少し手を加えてやれば市民の憩いの場として有効な利用ができるのではないかと。

### 懇談会の写真



# 流域 1 万人だより VOL. 28

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月4日(土)に蜷川公民館(大橋町)にて  
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、  
32名の住民の方から活発な意見が出されました！！

出席者	
国	10
県	2
町	3
住民	32

## 主な意見

### 【河川行政について】

戦後計画された筑後川総合開発計画と、今回検討されている河川整備計画との関連性とは、地域計画としての総合的な考え方として、農水省と国土省との考え方の統一はされているのか。

### 【昭和28年水害について】

当時久留米市に住んでいたが、池町川があつという間に越水し、軒下まで水があがってきた。

### 【河川の整備について】

堤防の拡幅を。

昔は片ノ瀬出張所付近に坂路があり、高水敷が遊び場だった。ぜひ坂路の設置を。

### 【堤防の利用について】

現在の交通事情を考えると、堤防道路を開放して欲しい。

川表小段と川裏小段にそれぞれ2車線道路を設置したら交通混雑を緩和できるのでは。

橋梁部分については朝の通勤時の渋滞が著しいので、2車線化をを検討して欲しい。

### 【河川管理について】

ゴミの不法投棄が目立つが、行政の対応が遅すぎる。

除草については年2回行っているが、通学路だけでも適宜行って欲しい。

高水敷を利用したゲートボール場設置を計画しているが、こういった手続きが必要なのか知りたい。

堤防道路に町名地区名を表示した看板を設置して欲しい。

### 【地下水について】

河床の低下により橋脚の根の部分の露出が目立っている。蜷川校区はほとんどの世帯が井戸水を利用している。河川水の低下と地下水との関連はあるのか。

砂利採取は河川を維持するための許可なのか。地下水に影響するため禁止して欲しい。

### 【河川環境について】

蜷川付近は河岸が柳等でジャングル化しており、川に近づける場所がない。自然環境も大切だが、河岸を整備するべきではないか。過去に子どもが川に落ちて助けられなかったことがあった。

現在高水敷がほとんど牧草地として占用しているため、利用者は川岸に近づけない。牧草地の全面的な排除とまではいかないが、グラウンドなどの整備を行って欲しい。

魚が遡上しやすい対策を。

## 住民懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.29

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

## 9月14日(火)に日田市西有田公民館で 西有田地区地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は9月14日(火)に西有田公民館(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名 日田市

①. 代表者懇談会

2. 住民懇談会

### 出席者

国	3
県	0
市	1
住民	5

### 主な意見

#### 【昔の思い出】

昔は、学校から帰ったらすぐに川へ泳ぎに行ったり魚を捕りに行ったりしていた。今は、川が汚いというイメージが根強いのか、子どもが川に足を向けなくなった。

子どもの頃は、たくさんのシジミがいたし、笠(うけ)を使ってウナギなどをよく捕っていた。また、深みでは飛び込んだりしていた。深みがあって、大きな木がある、こんな風景が川のイメージであった。

S28水害の際、有田川と石松川では橋が流された、住吉地区では破堤した箇所もあった。

#### 【治水対策について】

河川の改修によって安全な暮らしができるようになったが、堤防があることによって川に近づきにくくなったことも否めない。子どもが滑ってしまうようなところもあるので、自然な傾斜というのも考慮すべき。

治水と環境との折り合いのついた整備をしなければならないと思うが、昔の人は昔の川に戻りたいと考えるものだ。

財津橋の上流地区においては、無堤地区があるので数多くの意見が出るのではないかと。

#### 【環境対策について】

有田川(県管理)は、以前禁漁区が設定され大きなフナがいた。しかし現在は有田川の改修により淵がなくなり平坦化した河川になってしまった。魚が住みやすい環境づくりをお願いしたい。

川の汚れも一頃に比べると良くなったような印象も受けるが、この地域は公共下水道の整備がなされておらず、これが実現すれば花月川の水もよくなると思う。これからは都市計画との整合を図った河川整備が必要になってくる。

平成9年の河川法改正に伴って、住民の意見を計画に活かすこととなったとの話だが、もう少し早く住民意見を聞く場を設けるべきではなかったか。

#### 【除草について】

昔は家庭に牛馬がおり、川に連れて行っては草を食べさせていたので、草や葦を刈るということはなかった。

花月川の川中で葦がかなり増えてきている。全て除去してしまうと生物の生息環境に影響を与えてしまうだろうが、葦をできるだけ少なくして自然石などを配置した整備をしてほしい。

花月川の本川の草刈りは国で行っていて、周辺の草刈りは地元住民で行っている。草が生い茂った状態では子どもが川に近づけないため、夏休み前に刈るなどの調整ができないものか。

### 代表者懇談会の様子



# 流域1万人だより VOL.30

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

## 9月17日(金)に五和振興センターで 五和地区地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月17日(金)に五和振興センター(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	日田市
-----	-----

① 代表者懇談会
----------

2. 住民懇談会
----------

出席者	
国	3
県	0
市	1
住民	6

### 主な意見

#### 【昔の思い出】

昔は川と人間の生活が密接な関係にあった。(炊事、洗濯、放牧等々)これからは、河川に近づきやすくする整備、人が集まるような利用というものを考えて行かなければならない。

石井地区は筑後川に接している。昔は堤防が切れ、大洪水に遭っていた。長い年月をかけて修復するがまた水害に遭うという歴史を繰り返してきた。先祖代々非常に苦労して暮らしてきた。筑後川とは切っても切れない関係があり、住民の関心も非常に高い。

#### 【環境対策について】

自然保護や野鳥の保護を訴える団体などは川の中に密集した柳を切るべきではないと言われるが、大水害を経験した者から言わせると治水優先であるべきで、その次に利水・環境である。もともとは河川の中に木が生え、河川管理が不十分だったことが現在の川の中に木が生い茂る状況を招いてしまったのではないかと。実際に切って欲しいと要望している箇所もあり、今後の対応について説明をしてもらいたい。

砂利採取場からの洗い水は、自然環境に影響がないかもしれないが、住民の目からすると非常に気になる。

#### 【治水対策について】

松原・下笠ダムの完成後、昭和28年水害時と同規模の降雨はあったのか、また降雨があった場合にはどのようなになってしまうのか。

石井第2排水樋管付近の400～500M区間(無堤地区)の河川改修はいつになったら行うのか。住民は具体的な話を聞きたがっているし、整備を施していないことがゴミ投棄につながっている。石井地区は日田の表玄関であり是非とも整備してほしい。

#### 【利用活用について】

日田は下流と比較して河川整備、川で遊べる場所が少ないのではないかと。現在、石井地区において河川親水公園をつくる計画があるが、将来的に何とか実現させたい。

日田市はカヌー競技に力をいれている。カヌーの競技場も整備したい。やはり日田をPRする目玉が必要だと思う。

#### 【その他】

全国でここしかない”アイ(鮎)押し”という漁法があり全国放送でも取り上げられた。堤防で菜の花をよく見かけるが、自然発生したものか栽培したものが広がったのかよくわからない。